

会計名		健康日本2 1かりや計画推進事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	健康推進課		
款	項					目	担当係	健康企画係	
4	1					1			
PLAN概要 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	誰もが元気に明るく暮らすために、一人ひとりが健康的な生活習慣を身に付け、継続していけるよう、健康づくりに取り組みやすい環境を整備し、生涯を通じた市民の健康づくりを総合的に推進する。			主たる内容	○市民が健康づくりに取り組みやすい環境整備を行う。 ○計画推進及び市民周知を目的としたパンフレットを作成し、市民の健康づくりを推進する。			
	位置づけ	関連計画	次世代育成支援行動計画、国民健康保険・特定健康診査等実施計画等						
		根拠法令	健康増進法						
		対象者	市民		事業期間	平成26年度～令和5年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O A 実績 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		健康づくり事業に取り組むための環境整備 ・かりや健康マイレージ事業の周知啓発優待カード464枚 ・かりや健康づくりチャレンジ宣言の登録企業数 12社		健康づくり事業に取り組むための環境整備 ・かりや健康マイレージ事業の周知啓発優待カード688枚 ・かりや健康づくりチャレンジ宣言の登録企業数 59社		健康づくり事業に取り組むための環境整備 ・かりや健康マイレージ事業の周知啓発優待カード918枚 ・かりや健康づくりチャレンジ宣言の登録企業数 74社		健康づくり事業に取り組むための環境整備 ・かりや健康マイレージ事業の周知啓発優待カード ・協会けんぽとの連携 ・事業所向け健康づくり支援	
計画推進の重点的取組 ・ロコモ予防の健康教育 24回 ・歯、口腔に関する正しい知識の普及啓発		計画推進の重点的取組 ・ロコモ予防の健康教育 19回 ・歯、口腔に関する正しい知識の普及啓発		計画推進の重点的取組 ・ロコモ予防の健康教育 13回 ・歯、口腔に関する正しい知識の普及啓発		計画推進の重点的取組 ・ロコモ予防の普及啓発 ・歯、口腔に関する正しい知識の普及啓発			
成果		若い世代からの健康づくりのきっかけとしてかりや健康マイレージ事業の普及啓発を行った。ロコモティブシンドローム予防を実践するための体操や健康教育を実施した。健康経営・職場の健康づくりに取り組む事業所を、認定し健康づくりへの支援を行い、優秀な取組事業所を表彰し、PRを行った。							
課題		事業所の健康づくりのために、市の事業の積極的な利用を推進していく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の認知度（%）			51.1	52.2	53.5	61.9	73.7
指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		561	548	571	263	合計	571,148 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	241,808 円	
		一般財源	561	548	571	263	委託料	329,340 円	
	職員人件費 ②		15,431	8,857	9,333	0			
	総事業費（①+②）		15,992	9,405	9,904	263			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			健康日本21かりや計画推進事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	健康推進課
款	項	目		担当係	健康企画係
4	1	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	生活習慣病発症予防や介護予防を図り、健康寿命を延伸して豊かな高齢期を過ごすことは、誰もが望むことであり、市民ニーズが高い。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	啓発物品の配布方法の見直しや、ホームページやアプリの活用、関係団体等と情報交換その他の連携を図ることで、効率的な計画推進の方法を図ることができる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	普通	総合計画との整合性を図りながら推進する事業である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	普通	健康日本21かりや計画に掲げる目標値達成に向けて、さまざまな取組みを継続して実施していくことが、市民サービスにつながる。	
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	若い世代から生活習慣改善に取り組む市民を増やし、元気な高齢者を増やすことに繋げていく。				

会計名 一般会計			AED貸出事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	健康推進課		
4	1	1					担当係	健康増進係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	健康づくり							
		施策の内容	健康の増進							
	目的	市民が参加するイベント等の主催者に対し、AEDを貸し出すことにより、その参加者が心肺停止状態に陥った際に早期に救命措置を行うことができる体制を整え、市民の安心と安全の確保を図る。			主たる内容	市民が参加するイベント等の主催者に対し、AEDの貸出を行う。 ○対象 おおむね10人以上が参加する市内で開催されるイベント ○費用 無料 ○貸出場所 保健センター				
	位置づけ	関連計画 根拠法令								
	対象者				事業期間	令和2年度 ~				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		_____		_____		・貸出AED保有数 2台 ・市民だより及びホームページによる周知		・貸出AED保有数 2台 ・市民だより及びホームページによる周知		
		成果	新型コロナウイルスの感染拡大により、イベント等が相次いで中止となるなか、3件ではあるが貸出実績を得ることができた。							
課題		新型コロナウイルスの感染拡大により、事業PRが十分にできなかった。また、イベント等が相次いで中止となり、申請が少なかった。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
活動指標	AED貸出件数（件）			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標					—	3	5	10		
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	150	151	合計		150,480 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	使用料及び賃借料			150,480 円
		一般財源	0	0	150	151				
	職員人件費 ②		0	0	373	1,055				
	総事業費（①+②）		0	0	523	1,206				
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称					
	2年度までの累積事業費		0							
	4年度以降の事業費見込		0							

会計名			A E D 貸出事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	健康推進課
款	項	目		担当係	健康増進係
4	1	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		普通	A E D の設置のない場所においても市民の生命を守るため、必要な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	リースにより、メンテナンス等効率的にできる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		普通	市民の生命を守るという観点では、市が主体となって実施すべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		普通	イベントが安全に運営でき、参加者も安心して参加できる。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
新しい制度であり、市民への周知が不足していることが課題であるため、今年度はさらに事業の啓発を行う予定である。					

会計名 一般会計		新型コロナウイルス感染症対策医療機関等				担当部	福祉健康部		
款	項	目	支援事業				担当課	健康推進課	
4	1	1					担当係	健康企画係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	予防接種と感染症対策						
	目的	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の支援及び医療従事者への慰労を目的とする。			主たる内容	愛知県の緊急事態宣言発令中において、患者へ医療等を提供した医療機関等に対し支援金を交付する。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市新型コロナウイルス感染症対策医療機関等支援金交付要綱						
		対象者	市内医療機関等		事業期間	令和2年度 ~ 令和2年度			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		—		—		対象医療機関等 191事業所		—	
成果		医療機関の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に支援し、市民が安心して医療が受けられるよう努めた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標	交付件数（件）			—	—	191	—	—	
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	23,800	0	合計 23,800,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 23,800,000 円		
		一般財源	0	0	23,800	0			
	職員人件費 ②		0	0	896	0			
	総事業費（①+②）		0	0	24,696	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			新型コロナウイルス感染症対策医療機関等 支援事業		担当部	福祉健康部
款	項	目			担当課	健康推進課
4	1	1			担当係	健康企画係
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	医療機関等が新型コロナウイルス対策の感染防止対策を行うための支援が、市民に安心、安全な医療を提供するのに必要であった。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	速やかに交付したことにより、医療機関等が対策を実行しやすかった。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	市民が安心、安全に医療を受けられるよう、市に所在する広く多くの事業所に交付した。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	対象となる事業所の9割以上の事業所に交付した。	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止			

会計名			刈谷豊田総合病院補助事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	健康推進課	
款	項	目					担当係	健康企画係	
4	1	1							
PLAN概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	地域医療体制の充実						
	目的	市民がいつでも安心して医療が受けられるように、市民病院的病院として位置づけられている刈谷豊田総合病院の健全な運営の維持を支援する。			主たる内容	○刈谷豊田総合病院の運営に対する補助			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	医療法人豊田会	事業期間	昭和56年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		刈谷豊田総合病院の健全な運営を支援した。		刈谷豊田総合病院の健全な運営を支援した。		刈谷豊田総合病院の健全な運営を支援した。 ※新型コロナウイルス影響下での運営安定化を図るため2億円を増額		刈谷豊田総合病院の健全な運営を支援する。	
成果		刈谷豊田総合病院の健全な運営を支援することにより、市民が安心して医療を受けられる環境整備に寄与することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
成果指標		安心できる医療環境が整っていると思う市民の割合（％）			84.0	—	84.9	86.0	88.0
指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		304,723	301,758	521,527	314,516	合計 521,527,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 521,527,000 円		
		一般財源	304,723	301,758	521,527	314,516			
	職員人件費 ②		463	231	896	1,582			
	総事業費（①+②）		305,186	301,989	522,423	316,098			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷豊田総合病院補助事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	健康推進課
款	項	目		担当係	健康企画係
4	1	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	本市唯一の総合病院である刈谷豊田総合病院の存在は市民にとって大変重要であり、病院の安定した運営を支援することで市民の安心感が増すこととなる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	補助申請に対する、審査を適切に行い、事業執行体制の効率化を図っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	多くの市民が受診する総合病院であることから、市が主体となって補助を行うことが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	安心で安全な医療の確保のための事業であり、貢献度も高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
安心で安全な医療の確保のため、今後も継続して補助を行っていく。					

会計名 一般会計		新型コロナウイルス対応支援資金利子補給				担当部	福祉健康部		
款 項 目		事業				担当課	健康推進課		
4 1 1						担当係	健康企画係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	地域医療体制の充実						
	目的	市民が安心して医療が受けられるよう、医療機関等の経営の安定を図る。			主たる内容	新型コロナウイルス感染症により減収等の影響を受けた医療機関が、独立行政法人福祉医療機構から新型コロナウイルス対応支援資金の融資を受けた場合、その利子相当分について支援する。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市新型コロナウイルス対応支援資金利子補給補助金交付要綱						
		対象者	市内医療機関等		事業期間	令和2年度 ~ 令和8年度			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		_____		_____		_____		申請に応じて交付する。	
成果		医療機関等へ事業を個別に通知し、制度の周知に努めた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標						0			
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	0	10,500	合計 0 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0			
		一般財源	0	0	0	10,500			
	職員人件費 ②		0	0	896	829			
	総事業費（①+②）		0	0	896	11,329			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			新型コロナウイルス対応支援資金利子補給 事業		担当部	福祉健康部
款	項	目			担当課	健康推進課
4	1	1			担当係	健康企画係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	新型コロナウイルス感染症により減収・事業停止等の影響を受けた医療機関等に対し補助を行うことは市民生活上必要である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	利子補給の対象となる医療機関等に通知やチラシ等で効率的に周知活動を行った。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	新型コロナウイルス感染症により影響を受けた、市内に所在する医療機関等の健全な運営の維持には、市が主体となって補助を行うことが必要である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	医療機関等の健全な運営を維持することで、市民が安心して医療が受けられる体制が構築され市民サービスの向上につながる。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
補助金を適切に受けられるよう、医療機関等に周知を行っていく。						

会計名 一般会計			刈谷豊田総合病院医療機器補助事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	健康推進課	
4	1	1					担当係	健康企画係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	地域医療体制の充実						
	目的	市民の医療に対するニーズの多様化・高度化に対し、最新医療機器導入により市民の健康管理に寄与する。			主たる内容	刈谷豊田総合病院における高額医療機器の購入及び医療情報システムの導入に要する経費を補助する。			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	医療法人豊田会		事業期間	平成7年度 ~				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
放射線治療装置の購入等に対して補助金を交付した。		がんの早期発見早期治療に必要なPET-CTの購入等に対して補助金を交付した。		手術支援ロボットの更新・増設及び全身用MRI装置の更新に対して補助金を交付した。		高度医療機器に対して補助金を交付する。			
成果		最新医療機器・高度医療支援システムの導入を支援することで、安心して医療が受けられる環境整備に寄与することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
成果指標		安心できる医療環境が整っていると思う市民の割合（％）			84.0	—	84.9	86.0	88.0
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		100,000	100,000	120,000	120,000	合計 120,000,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 120,000,000 円		
		一般財源	100,000	100,000	120,000	120,000			
	職員人件費 ②		463	231	224	226			
	総事業費（①+②）		100,463	100,231	120,224	120,226			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
		2年度までの累積事業費		0					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷豊田総合病院医療機器補助事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	健康推進課
款	項	目		担当係	健康企画係
4	1	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	医療機器の整備により、治療方法に選択の幅が広がることで救命率の増加に繋がることが期待でき、市民のニーズも高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	既に整備されている病診連携システムを活用することにより、機器の効率的な利用が期待できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	多くの市民が受診する総合病院であることから、市が主体となって実施することが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	安心で安全な医療の確保のための市民サービスであり、貢献度も高い。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
安心で安全な医療の確保のため、今後も継続して補助を行っていく。					

会計名 一般会計			健康診査事業				担当部	福祉健康部			
款	項	目					担当課	健康推進課			
4	1	3					担当係	成人保健係			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	健康づくり								
		施策の内容	健康の増進								
	目的	生活習慣に関する歯周疾患、骨粗しょう症及びC型・B型肝炎の予防と早期発見、早期治療を図る。				主たる内容	市民を対象に、歯科健康診査、後期高齢者歯科口腔機能健康診査、骨粗しょう症検診、肝炎ウイルス検診を実施する。				
	位置づけ	関連計画	第2次健康日本21かりや計画								
		根拠法令	健康増進法								
		対象者	市民（※対象年齢、条件あり）			事業期間	平成6年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画			
		・骨粗しょう症検診（基本健康診査含む） 1,404人 ・歯科健診 3,290人 ・後期高齢者歯科口腔機能健診 326人 ・肝炎ウイルス検診 B型 1,341人 C型 1,344人		・骨粗しょう症検診（基本健康診査含む） 1,227人 ・歯科健診 3,492人 ・後期高齢者歯科口腔機能健診 505人 ・肝炎ウイルス検診 B型 1,324人 C型 1,323人		・骨粗しょう症検診（基本健康診査含む） 424人 ・歯科健診 3,239人 ・後期高齢者歯科口腔機能健診 440人 ・肝炎ウイルス検診 B型 1,408人 C型 1,405人		・骨粗しょう症検診（基本健康診査含む） 706人 ・歯科健診 3,300人 ・後期高齢者歯科口腔機能健診 500人 ・肝炎ウイルス検診 B型 1,400人 C型 1,400人			
成果		疾病の予防、早期発見に結びついている。									
課題		歯科健診の受診率が20%に達するよう、さらに受診勧奨を図りたい。									
指標名称（単位）					実績値		目標値				
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		歯科健診受診率（40、50、60、70歳）（%）				18.3	18.0	17.1	18.0	18.5	
指標											
他市との比較検証		他市と比較して、歯科健診の受診率は第1位（令和2年度刈谷市受診率17.1%）となっている。 <令和2年度歯科健診受診率（40、50、60、70歳）> 碧南市13.2%、安城市10.1%、知立市9.1%、高浜市6.8%、西尾市5.9%									
C 事業コスト		単位：千円	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳				
	事業費①	32,260	34,844	32,281	41,073	合計	32,281,483円				
	財源	特定財源	8,165	7,737	7,583	9,135	需用費	288,019円			
		一般財源	24,095	27,107	24,698	31,938	役務費	2,501,000円			
	職員人件費②	3,086	2,549	3,218	2,720	委託料	29,491,084円				
	総事業費（①+②）	35,346	37,393	35,499	43,793	使用料及び賃借料	1,380円				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称					
2年度までの累積事業費		0		健康増進事業費補助金（県） 健康増進事業各種検診個人負担金							
4年度以降の事業費見込		0									

会計名			健康診査事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	健康推進課
款	項	目		担当係	成人保健係
4	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	健康増進法に基づき実施している。また、歯科健診、骨粗しょう症検診については、対象者を拡大して実施している。平成29年度から後期高齢者歯科口腔機能健診を実施している。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	歯科健診、後期高齢者歯科口腔機能健診、肝炎ウイルス検診については、市内指定医療機関で実施できる体制にしている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	健康増進法に基づき実施している。疾病の早期発見、早期治療により、市民の健康を守ることを目的とした事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	歯周疾患、口腔機能低下、肝炎、骨粗しょう症の早期発見と早期治療につながっている。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	これまでに、一度も健診（検診）を受けていない人への受診勧奨を行い、疾病の早期発見に努める。				

会計名			がん検診事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	健康推進課		
款	項	目					担当係	成人保健係		
4	1	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	健康づくり							
		施策の内容	健康の増進							
	目的	がんの早期発見・早期治療により市民の健康を守る。				主たる内容	死亡原因の上位を占めるがんについて、早期発見により早期治療に繋げるために、胃がん、大腸がん、肺がん、子宮がん、乳がん等のがん検診を実施する。			
	位置づけ	関連計画	第2次健康日本21かりや計画							
			根拠法令	健康増進法、がん対策基本法						
		対象者	市民（検診の種類により対象年齢あり）			事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		【各種がん検診受診率】		【各種がん検診受診率】		【各種がん検診受診率】		【各種がん検診受診率】		
・胃がん 17.5% ・大腸がん 28.8% ・肺がん 26.6% ・子宮がん 23.2% ・乳がん 29.0%		・胃がん 17.0% ・大腸がん 29.1% ・肺がん 26.6% ・子宮がん 23.3% ・乳がん 28.1%		・胃がん 13.4% ・大腸がん 24.6% ・肺がん 22.1% ・子宮がん 22.5% ・乳がん 26.3%		・胃がん 14.0% ・大腸がん 25.0% ・肺がん 23.0% ・子宮がん 23.0% ・乳がん 27.0%				
成果		新型コロナウイルス感染症の1回目緊急事態宣言の影響で検診開始を遅らせたが、その後は感染予防対策を講じながら実施できた。								
課題		新型コロナウイルス感染症拡大による検診の受診控えが続かないよう、受診勧奨をする必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		各種がん検診受診者数（人）			37,903	38,171	32,629	33,000	40,000	
活動指標		がん検診の受診率（%）			25.0	24.8	21.8	22.0	25.0	
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費①		253,829	260,641	211,826	266,752	合計	211,825,517円		
	財源	特定財源	1,777	599	566	599	需用費	5,824,506円		
		一般財源	252,052	260,042	211,260	266,153	役務費	3,550,000円		
	職員人件費②		7,330	4,013	3,741	3,473	委託料	202,451,011円		
	総事業費（①+②）		261,159	264,654	215,567	270,225				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
		2年度までの累積事業費		0		がん検診推進事業費補助金（国）				
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			がん検診事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	健康推進課
款	項	目		担当係	成人保健係
4	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	健康増進法及びがん対策基本法に基づき、死亡原因の第1位であるがんの早期発見の推進に努める必要がある。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	高い	市内指定医療機関にて個別に検診が実施できる体制整備や、がん検診等受診券を特定健康診査受診票に同封したり、特定年齢に対して個別に送付するなど、受けやすい体制が整っている。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	健康増進法及びがん対策基本法に基づき実施しており、がんの早期発見、早期治療により市民の健康を守ることを目的とした事業である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	がんの早期発見につながっている。	
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	がん検診の受診勧奨を行い、受診率向上を図り、がんの早期発見に努める。				

会計名 一般会計			特定保健指導事業				担当部	福祉健康部			
款	項	目					担当課	健康推進課			
4	1	3					担当係	成人保健係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	健康づくり								
		施策の内容	健康の増進								
	目的	特定保健指導を実施することにより、生活習慣改善への意識付けを行い、生活習慣病を予防する。				主たる内容	特定健康診査等の結果に基づいて、情報提供・動機付け支援・積極的支援の3階層に区分し保健指導を行う。				
	位置づけ	関連計画	第3期国民健康保険特定健康診査等実施計画、第2期刈谷市国民健康保険データヘルス計画								
			根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律、健康増進法							
		対象者	動機付け・積極的支援に該当する人等			事業期間	平成20年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画			
		・積極的支援初回面接者数 7人 ・動機付け支援初回面接者数 86人		・積極的支援初回面接者数 15人 ・動機付け支援初回面接者数 102人		・積極的支援初回面接者数 12人 ・動機付け支援初回面接者数 112人 ※保健センターに加え市内健診センター2箇所での保健指導を開始		・積極的支援初回面接者数 20人 ・動機付け支援初回面接者数 120人			
成果		新型コロナウイルス感染症の1回目緊急事態宣言の影響で特定健診の開始を遅らせたため、特定保健指導の開始も遅くなったが、その後は感染予防対策を講じながら実施できた。また、新たに市内健診センターへ委託を開始し実施できたため、実績は向上した。 直接対象者に働きかけ、生活習慣改善の意識付けができた。 さらに実施率の向上を図る必要がある。									
課題		さらなる実施率の向上を図る必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度			
活動指標	法定報告による特定保健指導終了率（%）※2年度の数值は12月公表予定			10.8	11.2	—	12.0	12.5			
指標											
他市との比較検証	<法定報告 令和元年度終了率> 刈谷市11.2%、碧南市13.1%、安城市14.6%、知立市21.4%、高浜市27.8%										
C 事業コスト V	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳				
	事業費 ①		1,739	1,815	1,921	3,731	合計 1,921,232 円				
	財源	特定財源	1,665	1,665	1,490	3,718	需用費 370,512 円				
		一般財源	74	150	431	13	役務費 280,000 円 委託料 1,270,720 円				
	職員人件費 ②		4,244	3,319	2,845	1,288					
	総事業費（①+②）		5,983	5,134	4,766	5,019					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称					
2年度までの累積事業費		0		特定健診等受託収入 健康増進事業費補助金（県）							
4年度以降の事業費見込		0									

会計名			特定保健指導事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	健康推進課
款	項	目		担当係	成人保健係
4	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	法に基づいて実施している。市民の健康状態の維持向上のために必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	健診受診時に実施できる方法を取り入れており、効率的な実施体制としている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	市が実施主体である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	市民の健康づくりへの意識付けとなっている。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
参加しやすい体制づくりと、参加者が積極的に参加したくなるような仕組みを考える必要がある。					

会計名		高齢者予防接種事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	健康推進課		
款	項					目	担当係	成人保健係	
4	1					4			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	予防接種と感染症対策						
	目的	肺炎球菌による肺炎や、インフルエンザの感染、発病及び重症化予防を図る。	主たる内容	インフルエンザ予防接種、高齢者肺炎球菌予防接種を実施する。 高齢者肺炎球菌（任意）接種費用の助成を行う。（生涯1回）					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令		予防接種法					
		対象者	主たる内容欄参照		事業期間	平成13年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・インフルエンザ 17,102人 ・高齢者肺炎球菌 定期接種 2,744人 任意接種 204人		・インフルエンザ 18,209人 ・高齢者肺炎球菌 定期接種 1,124人 任意接種 141人		・インフルエンザ 23,097人 ・高齢者肺炎球菌 定期接種 1,172人 任意接種 127人		・インフルエンザ 23,200人 ・高齢者肺炎球菌 定期接種 1,200人 任意接種 110人	
成果		高齢者のインフルエンザや肺炎の発病又はその重症化を防止し、併せてまん延の予防に貢献している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で市民の意識が高まったことと、インフルエンザ予防接種の自己負担金が全員免除となったことで、接種率が向上した。							
課題		高齢者のインフルエンザ及び肺炎の予防のために、さらに接種率の向上に努める必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		インフルエンザ予防接種率（%）			55.9	58.7	73.6	73.9	74.5
指標									
他市との比較検証		<高齢インフルエンザ予防接種 令和2年度接種率> 刈谷市73.6%、碧南市70.7%、安城市71.6%、知立市70.3%、高浜市73.4%							
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		95,034	91,673	136,706	107,474	合計	136,705,773 円	
	財源	特定財源	0	0	22,309	0	需用費	1,363,391 円	
		一般財源	95,034	91,673	114,397	107,474	役務費	5,415,067 円	
	職員人件費 ②		6,172	4,321	3,367	3,021	委託料	129,257,607 円	
	総事業費（①+②）		101,206	95,994	140,073	110,495	負担金、補助及び交付金	491,500 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		高齢者インフルエンザ予防接種費補助金（県）					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			高齡者予防接種事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	健康推進課
款	項	目		担当係	成人保健係
4	1	4			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	高齡者インフルエンザ予防接種と高齡者肺炎球菌予防接種は予防接種法で定められており、発症及び重症化を防ぐために必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		高い	接種を受けやすいように、医療機関個別接種方式で実施している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	高齡者インフルエンザ予防接種及び高齡者肺炎球菌予防接種は、予防接種法上で定期接種として、市が実施主体と定められている。高齡者肺炎球菌任意予防接種への費用助成については、定期接種対象者以外の人の接種費用負担軽減のために必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	市民の健康保持のために貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
高齡者肺炎球菌予防接種は接種年齢が限定されているため、当該年度に接種できるように、個別通知を継続する。 また、定期接種時に接種できなかった人への、任意接種費用助成を継続する。					

会計名			新型コロナウイルス感染症対策事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	健康推進課	
款	項	目					担当係	健康企画係	
4	1	4							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	予防接種と感染症対策						
	目的	市の公共施設や医療機関等における新型コロナウイルス感染症の予防と感染拡大防止を図る。	主たる内容	感染症予防や消毒のために必要な資材を購入し、適切に管理する。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	新型インフルエンザ等対策特別措置法、感染症予防法						
	対象者		事業期間	令和2年度 ~ 令和2年度					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		_____		_____		・非接触型体温計 44本 ・マスク 30,000枚 ・消毒用アルコール 588本 ・使い捨て手袋 5,900枚		_____	
成果		物資が不足した市の公共施設や医療機関に物資を提供し、市民が安心して利用できるよう努めた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		設置施設数（箇所）			—	—	34	—	—
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	3,115	0	合計	3,115,385 円	
	財源	特定財源	0	0	438	0	需用費	3,115,385 円	
		一般財源	0	0	2,677	0			
	職員人件費 ②		0	0	1,045	0			
	総事業費（①+②）		0	0	4,160	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
		2年度までの累積事業費		0		南海トラフ地震等対策事業補助金			
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			新型コロナウイルス感染症対策事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	健康推進課
款	項	目		担当係	健康企画係
4	1	4			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として有効な資材を購入し、市の公共施設や医療機関等に設置することは必要であった。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	資材が不足している施設や医療機関へ、適切に配置した。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	市の多くの施設や医療機関において、資材の不足が発生したため、市が全体を把握して資材を一括購入し、配置することは妥当であった。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	施設利用者の感染予防、拡大防止に貢献した。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止		

会計名 一般会計		新型コロナウイルスワクチン接種体制確保 事業				担当部	福祉健康部		
款	項					目	担当課	健康推進課	
4	1	4	担当係	健康企画係					
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	予防接種と感染症対策						
	目的	新型コロナウイルス感染症の発症及び重症化の予防を図る。			主たる内容	新型コロナウイルスワクチンの接種開始に向けて準備を行い、接種体制を確保する。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	予防接種法						
		対象者				事業期間	令和2年度 ~ 令和2年度		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		_____		_____		・健康管理システムの改修 ・接種券等の印刷 ・コールセンターの設置、運営 ・接種に必要な物品等の購入		_____	
成果		市民へ円滑に接種を行うため、物品の購入や必要な体制の整備を行った。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標									
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	19,745	0	合計	19,744,688 円	
	財源	特定財源	0	0	19,745	0	需用費	7,984,188 円	
		一般財源	0	0	0	0	委託料	5,320,000 円	
	職員人件費 ②		0	0	0	0	備品購入費	6,440,500 円	
	総事業費（①+②）		0	0	19,745	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
		2年度までの累積事業費		0		新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金			
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			新型コロナウイルスワクチン接種体制確保 事業		担当部	福祉健康部
款	項	目			担当課	健康推進課
4	1	4			担当係	健康企画係
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	予防接種法に基づく臨時接種としての予防接種であり、法的業務であるため、円滑な接種に向けた準備が必要である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	個別接種と集団接種を並行して実施するよう体制を整え、感染症防止対策としての効果を上げられるよう準備した。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	予防接種法に基づき、接種は市が実施主体となっているため体制を整える必要がある。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	感染症感染拡大防止対策として、ワクチン接種が有効である。	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止			

会計名		新型コロナウイルスワクチン接種事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	健康推進課		
款	項					目	担当係	健康企画係	
4	1					4			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	予防接種と感染症対策						
	目的	新型コロナウイルス感染症の発症及び重症化の予防を図る。		主たる内容	新型コロナウイルスワクチンの接種を安全かつ円滑に実施する。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	予防接種法						
		対象者			事業期間	令和2年度 ~ 令和3年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
						・健康管理システムの改修 ・コールセンターの設置、運営 ・医療機関への説明会の開催		・接種券の印刷、郵送 ・コールセンターの運営 ・接種に必要な物品等の購入 ・接種に従事する医師等の確保	
成果		市民へ円滑に接種を行うため、実施に向けて医師会等と調整を行い、体制を整えた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		新型コロナウイルスワクチン接種率（%）			—	—	—	80.0	
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	11,418	714,672	合計	11,417,542 円	
	財源	特定財源	0	0	11,418	714,672	委託料	11,392,842 円	
		一般財源	0	0	0	0	使用料及び賃借料	24,700 円	
	職員人件費 ②		0	0	0	0			
	総事業費（①+②）		0	0	11,418	714,672			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
		2年度までの累積事業費		0		新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金			
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			新型コロナウイルスワクチン接種事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	健康推進課
款	項	目		担当係	健康企画係
4	1	4			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	予防接種法に基づく臨時接種としての予防接種であり、法的業務である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	個別接種と集団接種による予防接種の体制を整え、市民への接種を早期に行えるように準備した。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	予防接種法に基づき、接種は市が実施主体となっている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	感染症感染拡大防止対策として、ワクチン接種が有効である。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
安心、安全かつ円滑に市民へワクチンを接種していく。					

会計名			地域健康支援システム管理事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	健康推進課	
款	項	目					担当係	健康企画係	
4	1	1							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	個々の情報を連携し、一元管理できるシステムを適切に管理する。			主たる内容	妊娠期から個人カルテの作成、各種健康診査・予防接種の対象者抽出およびデータの管理、各種講座・教室等受付の管理			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	市民			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		保守管理		保守管理		保守管理			
成果		市民の情報を一元管理することにより、総合的なサービスを提供することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標									
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	6,388	6,351	13,716	合計	6,350,916 円	
	財源	特定財源	0	0	0	1,094	需用費	321,420 円	
		一般財源	0	6,388	6,351	12,622	委託料	2,626,800 円	
	職員人件費 ②		0	3,543	1,643	527	使用料及び賃借料	3,402,696 円	
	総事業費（①+②）		0	9,931	7,994	14,243			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
		2年度までの累積事業費		0					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			地域健康支援システム改修事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	健康推進課	
4	1	1					担当係	健康企画係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全			主たる内容	○乳幼児健康診査等を管理している母子保健健康診査マニュアル変更に伴うOCR帳票修正に対応する。 ○特定健康診査結果データに個人ごとに枝番のついた新保険証番号を取り込めるようにする。		
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	予防接種と感染症対策						
	目的	現行の健康支援システムを母子保健健康診査マニュアル変更や国民健康保険の保険証番号の変更に伴い、対応するため改修する。							
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	母子保健法、高齢者の医療の確保に関する法律						
		対象者	市民	事業期間	令和元年度 ~ 令和3年度				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
				<ul style="list-style-type: none"> システム改修を実施し、風しんの追加的対策に対応した。 パッケージ導入及び帳票の設定 		<ul style="list-style-type: none"> システム改修を実施し、母子保健健康診査マニュアルの変更に伴うOCR帳票の改修を行った。 特定健康診査結果データに個人ごとの新保険証番号を取り込めるように改修を行った。 		<ul style="list-style-type: none"> 新型インフルエンザ等の予防接種履歴を管理するため、システムを改修する。 ロタウイルスワクチンの予防接種履歴を管理するため、システムを改修する。 	
成果		システム改修により、乳幼児健康診査等の情報を定期節に管理・報告できるようになった。また、特定健康診査結果データを国保連合会と円滑に共有できた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標									
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	3,056	4,895	2,585	合計	4,895,000 円	
	財源	特定財源	0	1,311	0	1,282	委託料	4,895,000 円	
		一般財源	0	1,745	4,895	1,303			
	職員人件費 ②		0	0	224	226			
	総事業費（①+②）		0	3,056	5,119	2,811			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			自殺対策計画推進事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	健康推進課	
4	1	1					担当係	健康増進係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	平成30年度に策定した刈谷市自殺対策計画に基づき、自殺対策を総合的に推進して自殺の防止を図り、市民の健康に寄与する。				主たる内容	自殺対策計画推進委員会の開催や自殺予防に関する情報等の周知や啓発、悩んでいる人を支援する人材育成を行う。		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民			事業期間	令和元年度 ~ 令和5年度		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		_____		・自殺対策計画推進委員会開催数 1回 ・ゲートキーパー養成者数 555人 ・事業所向け出張型こころの健康講座の実施事業者数 7回 ・自殺対策推進の街頭啓発 1回		・自殺対策計画推進委員会開催数 1回 ・ゲートキーパー養成者数 150人 ・事業所向け出張型こころの健康講座の実施事業者数 8回 ・自殺対策推進の街頭啓発 2回		・自殺対策計画推進委員会開催数 1回 ・ゲートキーパー養成者数 100人 ・事業所向け出張型こころの健康講座の実施事業者数 8回 ・自殺対策推進の街頭啓発 2回	
成果		コロナ禍において、講座・教室等の中止が相次ぎ、昨年度の実績より減少したが、一般市民、市職員、各種団体、企業等に働きかけ、一定の受講者数を確保できた。また、当初計画していた9月の自殺予防週間に合わせた街頭啓発は感染拡大のため中止したが、感染状況が落ち着いた11月に臨時で実施した。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		ゲートキーパー養成者数（人）				555	150	100	100
活動指標		事業所向け出張型こころの健康講座の実施事業者数（回）				7	8	8	10
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	286	315	542	合計	315,000 円	
	財源	特定財源	0	133	157	233	報償費	117,000 円	
		一般財源	0	153	158	309	需用費	198,000 円	
	職員人件費 ②		0	0	3,367	4,151			
	総事業費（①+②）		0	286	3,682	4,693			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		地域自殺対策強化事業費補助金（県）					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			施設管理事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	健康推進課	
4	1	1					担当係	健康企画係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	保健センターの適切な維持管理等を図る。			主たる内容	光熱水費、施設保守管理委託料			
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	昭和55年度～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		総合健康センター維持管理を行った。		総合健康センター維持管理を行った。		総合健康センター維持管理を行った。		総合健康センター維持管理を行う。	
成果		総合健康センターの適切な維持管理が図られた。							
課題		平成23年度に施設が開設して10年が経過しており、細かい部分で修繕の必要な箇所が出てきている。							
指標		指標名称（単位）			実績値		目標値		
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
	他市との比較検証								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		27,672	27,258	29,159	38,035	合計	29,159,207 円	
	財源	特定財源	85	77	53	74	需用費	7,624,916 円	
		一般財源	27,587	27,181	29,106	37,961	役務費	1,397,203 円	
	職員人件費 ②		3,241	4,005	3,808	3,842	委託料	12,440,998 円	
	総事業費（①+②）		30,913	31,263	32,967	41,877	使用料及び賃借料	7,126,840 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料					
4年度以降の事業費見込		0		施設賠償責任保険 資源売却収入					
						備品購入費	569,250 円		

会計名 一般会計			施設改修事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	健康推進課	
4	1	1					担当係	健康増進係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	目的 保健センターの適切な維持管理を図る。				主たる内容	主たる内容 げんき応援室廊下側窓の改修、執務室の電話機の増設を行う。		
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	市民			事業期間	平成27年度 ~ 平成27年度			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
				げんき応援室廊下側窓の改修、執務室の電話機の増設を行った。					
成果		開設から10年が経過した施設について、必要な箇所に係る改修等の対応ができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	1,172	0	合計	1,171,500 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	1,171,500 円	
		一般財源	0	0	1,172	0			
	職員人件費 ②		0	0	0	75			
	総事業費（①+②）		0	0	1,172	75			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
		2年度までの累積事業費		0					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			健康づくり推進施設補助事業				担当部	福祉健康部
一般会計							担当課	健康推進課
款	項	目					担当係	健康企画係
4	1	1						
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全					
		基本施策	健康づくり					
		施策の内容	健康の増進					
	目的	市民の健康を守り福祉の向上に資する。		主たる内容	一ツ木福祉センターの補完施設として、市民に開放されている介護老人保健施設の清掃業務費及び光熱水費を補助する。			
	位置づけ							
	関連計画							
	根拠法令							
	対象者	医療法人豊田会		事業期間	平成10年度～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画
・施設利用実績 176回 延1,074人 ・介護予防教室 4回 延 71人		・施設利用実績 149回 延989人 ・介護予防教室 3回 延 32人		新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため利用実績はなし。		施設の一般開放、介護予防教室の開催		
成果		感染症拡大防止対策を優先し、介護老人保健施設の利用者の健康の保持に努めた。						
課題								
指標名称（単位）			実績値			目標値		
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
成果指標		日頃から健康づくり活動を実践している市民の割合（％）		68.6	—	71.2	74.3	80.0
指標								
他市との比較検証								
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳
	事業費 ①		9,251	9,400	9,504	9,348	合計 9,504,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 9,504,000 円	
		一般財源	9,251	9,400	9,504	9,348		
	職員人件費 ②		463	539	224	226		
	総事業費（①+②）		9,714	9,939	9,728	9,574		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称		
2年度までの累積事業費		0						
4年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			臨床検査センター検査設備補助事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	健康推進課	
4	1	1					担当係	健康企画係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	地域医療体制の充実						
	目的	刈谷医師会臨床検査センターの検査設備を充実する事業に対し補助することで地域住民の健康を守り医療サービスの推進を図る。				主たる内容	検査機器やシステム導入に要する経費の補助		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	一般社団法人刈谷医師会			事業期間	平成2年度 ~		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		検査設備の更新、導入経費に対し補助した。		検査設備の更新、導入経費に対し補助した。		検査設備の更新、導入経費に対し補助した。		検査設備の更新、導入経費に対し補助する。	
成果		検査設備を充実することで精度管理の向上が図られ、市民の健康管理に対し、寄与することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
成果指標		安心できる医療環境が整っていると思う市民の割合（％）	30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
指標		84.0	—	84.9	86.0	88.0			
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		25,000	25,000	25,000	25,000	合計 25,000,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 25,000,000 円		
		一般財源	25,000	25,000	25,000	25,000			
	職員人件費 ②		463	231	224	226			
	総事業費（①+②）		25,463	25,231	25,224	25,226			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			休日診療運営支援事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	健康推進課		
4	1	1					担当係	健康企画係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全			主たる内容	○休日等の8時30分から19時30分、刈谷医師会が開設する休日診療所（内科）にて救急患者の診療にあたることへの人件費の補助 ○休日等の9時から17時、刈谷医師会が実施する在宅当番医制事業（外科）にて救急患者の診療にあたることへの人件費の補助 ○事業委託料は、刈谷医師会に属する刈谷、知立、高浜の3市の会員数で按分し負担			
		基本施策	健康づくり							
		施策の内容	地域医療体制の充実							
	目的	刈谷医師会が運営する休日診療所及び休日在宅当番医制事業に対し補助することにより市民の休日の救急医療体制の確保を図るとともに、第2次及び第3次医療機関での受け入れ患者数を抑制する。								
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	一般社団法人刈谷医師会		事業期間	昭和49年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		・休日診療所開設日数 72日 ・診療人数 6,946人 ・外科診療日数 51日		・休日診療所開設日数 75日 ・診療人数 6,648人 ・外科診療日数 55日		・休日診療所開設日数 70日 ・診療人数 1,525人 ・外科診療日数 49日		・休日診療所開設日数 70日 ・外科診療日数 55日		
成果		軽度の救急患者の処置を行うことにより、重度の救急患者を受け入れる2次及び3次救急医療機関(刈谷豊田総合病院等)の受け入れ体制の緩和に貢献するとともに、市民の救急医療の確保が図られた。								
課題										
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
成果指標		安心できる医療環境が整っていると思う市民の割合（％）				84.0	—	84.9	86.0	88.0
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		31,182	32,270	30,122	33,292	合計	30,121,515 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	2,605,943 円		
		一般財源	31,182	32,270	30,122	33,292	負担金、補助及び交付金	27,515,572 円		
	職員人件費 ②		463	231	224	226				
	総事業費（①+②）		31,645	32,501	30,346	33,518				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			休日歯科在宅当番医制運営補助事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	健康推進課	
款	項	目					担当係	健康企画係	
4	1	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	地域医療体制の充実						
	目的	刈谷市歯科医師会が運営する休日歯科在宅当番医制事業の運営を補助することで市民の休日の医療確保を図る。			主たる内容	休日等の9時から12時の間、在宅輪番制で救急患者の診療にあたることへの運営費の補助			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	一般社団法人刈谷市歯科医師会	事業期間	平成8年度 ~				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		歯科の休日診療を当番制で実施した。 ・開設日数 77日		歯科の休日診療を当番制で実施する。 ・開設日数 81日		歯科の休日診療を当番制で実施する。 ・開設日数 76日		歯科の休日診療を当番制で実施する。 ・開設日数 75日	
成果		お盆や年末年始を含め、休日における市民の救急医療の確保が図られた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
成果指標		安心できる医療環境が整っていると思う市民の割合（％）			84.0	—	84.9	86.0	88.0
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		4,045	4,231	3,998	3,952	合計 3,998,398 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 3,998,398 円		
		一般財源	4,045	4,231	3,998	3,952			
	職員人件費 ②		463	231	224	226			
	総事業費（①+②）		4,508	4,462	4,222	4,178			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名		在宅ねたきり老人等歯科医療推進補助事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	健康推進課		
款	項					目	担当係	健康企画係	
4	1					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	地域医療体制の充実						
	目的	在宅ねたきり老人等の口腔機能障害を改善し、健康の保持と歯科保健の充実を図るため刈谷市歯科医師会に対し補助する。			主たる内容	在宅寝たきり老人や障害者で歯科往診希望者を対象に、刈谷医師会の主治医と連絡を取り、口腔内の予診を行い、治療計画を立て治療していくこれらの事業に対する補助			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	一般社団法人刈谷市歯科医師会		事業期間	平成元年度 ~			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		在宅寝たきり老人や障害者で歯科往診希望者を対象に訪問歯科診療を実施した。 ・診療件数 276件 ・診療総日数 1,752件		在宅寝たきり老人や障害者で歯科往診希望者を対象に訪問歯科診療を実施した。 ・診療件数 285件 ・診療総日数 1,705件		在宅寝たきり老人や障害者で歯科往診希望者を対象に訪問歯科診療を実施した。 ・診療件数 334件 ・診療総日数 2,554件		在宅寝たきり老人や障害者で歯科往診希望者を対象に訪問歯科診療を実施する。	
成果		刈谷市歯科医師会が行う訪問歯科診療事業に対し補助することにより、在宅寝たきり老人や障害者の口腔機能障害の改善に寄与することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
成果指標		安心できる医療環境が整っていると思う市民の割合（％）			84.0	—	84.9	86.0	88.0
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		1,750	1,750	1,750	1,750	合計 1,750,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 1,750,000 円		
		一般財源	1,750	1,750	1,750	1,750			
	職員人件費 ②		463	231	224	226			
	総事業費（①+②）		2,213	1,981	1,974	1,976			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名		健康づくり推進歯科事業補助事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	健康推進課		
款	項					目	担当係	健康企画係	
4	1					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	刈谷市歯科医師会が行う健康づくりを目的とした事業に対し補助することで高齢になっても自分の歯で楽しく食生活を送ることができるよう市民の歯の健康保持・増進を図る。			主たる内容	歯科医師による歯科健診・保健指導を実施し、また健康づくりのための講習会等を開催する事業に対する補助			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	一般社団法人刈谷市歯科医師会		事業期間	平成20年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		歯科に関する健康づくり講習会、研修、8020表彰事業を開催した。		歯科健康診査、歯科に関する健康づくり講習会、研修、8020表彰事業を開催した。		歯科健康診査、歯科に関する健康づくり講習会、研修、8020表彰事業を開催した。		歯科健康診査、歯科に関する健康づくり講習会、研修、8020表彰事業を開催。	
成果		刈谷市歯科医師会による歯科に関する各種事業を実施することで市民の健康増進に寄与することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
成果指標		日頃から健康づくり活動を実践している市民の割合（％）			68.6	—	71.2	74.3	80.0
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		700	859	898	976	合計	898,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	898,000 円	
		一般財源	700	859	898	976			
	職員人件費 ②		463	539	224	226			
	総事業費（①+②）		1,163	1,398	1,122	1,202			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名		薬と健康推進事業補助事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	健康推進課		
款	項					目	担当係	健康企画係	
4	1					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	刈谷市薬剤師会が行う市民の健康増進に寄与することを目的とした事業に対し補助することで市民に薬に関する正しい知識や最新の情報を提供する。			主たる内容	時事に応じて市民が不安や悩みを抱くような薬に関わるテーマによる市民講座の開催や冊子等により知識の啓蒙や情報を提供する事業に対する補助			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	一般社団法人刈谷市薬剤師会		事業期間	平成20年度～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
<ul style="list-style-type: none"> 市民健康講座を2回開催「アレルギー薬のあれこれ」「薬の効果と選び方」 啓発用リーフレットを配布 		<ul style="list-style-type: none"> 市民健康講座を2回開催「正しい薬の飲み方」「あなたは使っていますか？生活習慣病で使われるお薬」 啓発用リーフレットを配布 		<ul style="list-style-type: none"> 市民健康講座を2回開催 啓発用リーフレットを配布 		<ul style="list-style-type: none"> 市民健康講座を2回開催 啓発用リーフレットを配布 			
成果		時事に応じた薬に関する市民公開講座を開催すること等により、市民に対する啓蒙と情報提供ができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
成果指標		日頃から健康づくり活動を実践している市民の割合（％）			68.6	—	71.2	74.3	80.0
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		205	205	205	205	合計	205,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	205,000 円	
		一般財源	205	205	205	205			
	職員人件費 ②		463	539	224	226			
	総事業費（①+②）		668	744	429	431			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			骨髄提供者等助成事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	健康推進課	
4	1	1					担当係	健康企画係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	市内に住所を有する骨髄提供者及び骨髄提供者が勤務する事業所に対して助成金を交付することにより、骨髄提供者が骨髄を提供しやすい環境を整備する。		主たる内容	骨髄提供者及び骨髄提供者が勤務する事業所に対して助成金を交付する。 ○助成額（1回の骨髄等の提供につき7日を限度） 提供者 1日につき2万円 事業所 1日につき1万円				
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	主たる内容欄参照		事業期間	令和元年度 ~				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
_____		・助成対象者数 1人 ・助成対象事業所数 1箇所		・助成対象者数 2人 ・助成対象事業所数 0箇所		・助成対象者数 2人 ・助成対象事業所数 2箇所			
成果		骨髄提供者及び骨髄提供者が勤務する事業所に対して助成金を交付することにより、骨髄提供者が骨髄を提供しやすい環境を整備することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		従業員及びその家族の健康づくりを積極的に進める事業所へのPR数（社）			—	59	74	65	75
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	210	280	420	合計	280,000 円	
	財源	特定財源	0	105	140	210	負担金、補助及び交付金	280,000 円	
		一般財源	0	105	140	210			
	職員人件費 ②		0	231	299	301			
	総事業費（①+②）		0	441	579	721			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		骨髄提供者助成事業費補助金（県）					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			医療救護器材等整備事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	健康推進課		
款	項	目					担当係	健康企画係		
4	1	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	健康づくり							
		施策の内容	地域医療体制の充実							
	目的	災害時における医療救護体制の充実を図るため、災害時の医療救護活動に必要な医療器具・医薬品等を救護所施設に常備する。			主たる内容	市内5小中学校に配置した医療器具や医薬品を点検し、使用期限の切れるものを更新し適正に管理する。				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市民		事業期間	平成18年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		医薬品等の使用期限を確認し随時更新するとともに、防災用の備品購入を行った。		医薬品等の使用期限を確認し随時更新するとともに、防災用の備品購入を行った。		医薬品等の使用期限を確認し随時更新するとともに、防災用の備品購入を行った。		医薬品等の使用期限を確認し随時更新する。		
成果		医薬品等の更新を行い、災害時の医療救護の実施に備えた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
成果指標		安心できる医療環境が整っていると思う市民の割合（％）			84.0	—	84.9	86.0	88.0	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費①		1,003	1,212	1,505	1,316	合計		1,504,777円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費		1,440,777円	
		一般財源	1,003	1,212	1,505	1,316	委託料		64,000円	
	職員人件費②		2,546	4,159	523	1,205				
	総事業費（①+②）		3,549	5,371	2,028	2,521				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
		2年度までの累積事業費		0						
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			健康教育・相談等事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	健康推進課		
款	項	目					担当係	健康増進係		
4	1	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	健康づくり							
		施策の内容	健康の増進							
	目的	市民参画による健康づくりを推進することで「健康はつくるもの」という市民の意識を高める。				主たる内容	○市民健康講座等の保健事業及び各種教室の開催 ○保健推進員や食と健康づくりの会会員の養成 ○地域での健康づくり活動の支援 ○こころの健康づくりの各種講座の開催			
	位置づけ	関連計画	第2次健康日本21かりや計画							
		根拠法令	健康増進法							
		対象者	市民			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		・健康教育 22,254人 1,270回 ・健康相談 2,109人		・健康教育 18,791人 1,205回 ・健康相談 1,819人		・健康教育 5,012人 565回 ・健康相談 674人		・健康教育 9,000人 700回 ・健康相談 900人		
成果		コロナ禍において受講しやすい環境を整えるため、市民健康講座等を動画により展開した。またホームページやSNSを多用し、情報を発信した。								
課題		健康への関心が低い若い世代、働く世代の健康づくりのための正しい知識の普及啓発が不十分である。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年間を通して市民健康講座やげんき応援事業等が中止となり、実績が減少した。								
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
	活動指標	健康教育回数(回)			1,268	1,205	565	700	1,350	
	指標									
	他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①		3,280	3,232	2,722	4,568	合計 2,721,669 円			
	財源	特定財源	480	607	391	827	報償費	691,760 円		
		一般財源	2,800	2,625	2,331	3,741	需用費	1,528,229 円		
	職員人件費 ②		12,345	10,012	14,567	15,150	役務費	170,850 円		
	総事業費（①+②）		15,625	13,244	17,289	19,718	委託料	277,180 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0		健康増進事業費補助金（県） 地域自殺対策強化事業費補助金（県）						
4年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			基本健康診査事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	健康推進課		
4	1	3					担当係	成人保健係		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	健康づくり							
		施策の内容	健康の増進							
	目的	40歳未満の市民の生活習慣病の早期発見・早期治療を図る。			主たる内容	40歳未満の市民を対象に、生活習慣病予防及び早期発見に重点をおいた健康診査を行う。				
	位置づけ	関連計画	第2次健康日本21かりや計画							
			根拠法令	健康増進法						
		対象者	40歳未満の市民			事業期間	平成20年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実績	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		・定員 570人 ・受診者数 507人		・定員 580人 ・受診者数 462人		・定員 180人 ・受診者数 146人		・定員 450人 ・受診者数 450人		
成果		新型コロナウイルス感染症の影響で前半は中止したが、その後は感染予防対策を講じながら実施できた。生活習慣病の予防と早期発見に貢献している。若い年代から健康診査を定期的に受診する習慣をつけ、健康の保持増進の意識付けとなっている。								
課題		新型コロナウイルス感染症拡大の中、受診勧奨が十分にできなかった。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標	受診者数（人）			507	462	146	450	580		
指標										
C 事業コスト	他市との比較検証	刈谷市独自事業								
	単位：千円	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳				
財源	事業費①	10,497	7,353	2,422	6,676	合計 2,421,976 円				
	特定財源	2,797	0	0	0	需用費 24,200 円				
	一般財源	7,700	7,353	2,422	6,676	委託料 2,397,776 円				
	職員人件費②	2,700	2,780	2,695	1,288					
	総事業費（①+②）	13,197	10,133	5,117	7,964					
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0			2年度特定財源名称				
	2年度までの累積事業費		0							
	4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			脳ドック事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	健康推進課		
4	1	3					担当係	成人保健係		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	健康づくり							
		施策の内容	健康の増進							
	目的	MRI装置を使い、脳の健康状態を調べることで脳血管疾患等の早期発見を図る。				主たる内容	問診、診察、血圧測定、MRI検査・MRA検査による画像診断を行う。 ※対象者の条件：40歳以上の市民で刈谷市脳ドックを初めて受診する人			
	位置づけ	関連計画	第2次健康日本21かりや計画							
		根拠法令								
		対象者	主たる内容の※印参照			事業期間	平成16年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		・定員 700人 ・受診者数 694人		・定員 700人 ・受診者数 685人		・定員 700人 ・受診者数 696人		・定員 700人 ・受診者数 700人		
成果		新型コロナウイルス感染症の影響で検診開始を遅らせたが、その後は感染予防対策を講じながら実施できた。脳動脈瘤等の早期発見により、早期治療や疾病発生の予防に貢献した。多数回落選者に対して優先枠を設け、受診しやすい環境を整えている。								
課題		脳動脈瘤が発見された人等の、その後の受診状況のフォローができていない。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標	脳ドック受診者数（人）				694	685	696	700	700	
指標										
C 実施	他市との比較検証	刈谷市独自事業								
	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
C 事業コスト	事業費①		14,309	14,033	14,429	14,954	合計 14,428,589 円			
	財源	特定財源	274	122	498	0	需用費 3,673 円			
		一般財源	14,035	13,911	13,931	14,954	役務費 287,000 円 委託料 14,137,916 円			
	職員人件費②		3,086	2,857	2,397	686				
	総事業費（①+②）		17,395	16,890	16,826	15,640				
建設事業	全体事業費（単位：千円）			0		2年度特定財源名称				
	2年度までの累積事業費			0		後期高齢者医療制度特別対策補助金				
	4年度以降の事業費見込			0						

会計名		特定健康診査等事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	健康推進課		
款	項					目	担当係	成人保健係	
4	1	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	生活習慣病予防を効果的に進めるため、メタボリックシンドロームに着目した健康診査を行い、生活習慣病の予防、改善を図る。			主たる内容	刈谷市国民健康保険被保険者等を対象に医療保険者に義務付けられた生活習慣病予防のための特定健康診査等を実施する。 ※対象者の条件：40歳以上の刈谷市国民健康保険加入者、後期高齢者医療保険加入者等			
	位置づけ	第3期国民健康保険特定健康診査等実施計画、第2期刈谷市国民健康保険データヘルス計画							
	根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律、健康増進法							
	対象者	主たる内容欄参照			事業期間	平成20年度～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・特定健康診査受診者数 9,522人 ・後期高齢者健康診査受診者数 6,581人 ・貧血検査受診者数 12,793人 ・心電図検査受診者数 12,432人 ・眼底検査受診者数 2,171人		・特定健康診査受診者数 9,525人 ・後期高齢者健康診査受診者数 6,699人 ・貧血検査受診者数 12,720人 ・心電図検査受診者数 12,386人 ・眼底検査受診者数 2,183人		・特定健康診査受診者数 7,687人 ・後期高齢者健康診査受診者数 6,424人 ・貧血検査受診者数 11,353人 ・心電図検査受診者数 10,997人 ・眼底検査受診者数 1,975人		・特定健康診査受診者数 8,000人 ・後期高齢者健康診査受診者数 7,000人 ・貧血検査受診者数 12,000人 ・心電図検査受診者数 12,000人 ・眼底検査受診者数 2,100人	
成果		新型コロナウイルス感染症の1回目緊急事態宣言の影響で健診開始を遅らせたが、その後は感染予防対策を講じながら実施できた。 生活習慣病予防のための意識づけ、メタボリックシンドロームの予防につながっている。							
課題		40～59歳の働き盛りの年代の受診率向上のため、勧奨文を郵送する等で積極的に受診を勧奨する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		法定報告による特定健康診査受診率（％） ※2年度の数値は12月公表予定			45.0	46.6	—	47.0	47.5
指標									
他市との比較検証		<法廷報告 令和元年度受診率> 刈谷市46.6%、碧南市44.2%、安城市47.3%、知立市42.0%、高浜市38.2%							
C 事業コスト		単位：千円	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①	202,264	204,343	180,719	244,121	合計	180,719,086 円		
	財源	特定財源	184,266	183,035	165,506	231,515	需用費	3,018,427 円	
		一般財源	17,998	21,308	15,213	12,606	役務費	4,867,000 円	
	職員人件費 ②	6,172	4,321	4,189	3,473	委託料	172,833,659 円		
	総事業費（①+②）	208,436	208,664	184,908	247,594				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0		特定健診等受託収入 後期高齢者医療広域連合受託 事業収入					
4年度以降の事業費見込		0		健康増進事業費補助金（県）					

会計名		げんき応援事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	健康推進課		
款	項					目	担当係	健康増進係	
4	1					3			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	病気を持った人や低体力の人でも、安全かつ効果的に運動ができる場所を提供し、運動習慣の定着を促すことで、健康の保持・増進と介護予防を図る。		主たる内容	○自らの健康状態、生活習慣、体力の状況を知るための健康度評価を実施することで、健康づくりに取り組むためのきっかけづくりを行う。 ○個別支援教室では、医師や健康運動指導士等の指導のもと、安全で効果的な運動をすることで、自らの健康づくりに取り組むことができるように支援する。 ○コロナ禍において、感染対策を施し、安心安全な事業運営を行う。				
	位置づけ	関連計画	第2次健康日本21かりや計画						
		根拠法令	健康増進法						
		対象者	13歳以上の市民		事業期間	平成23年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・げんき度測定受検者数 865人 ・個別支援教室利用者数 35,042人		・げんき度測定受検者数 650人 ・個別支援教室利用者数 32,244人		・げんき度測定受検者数 71人 ・個別支援教室利用者数 5,594人		・げんき度測定受検者数 220人 ・個別支援教室利用者数 17,000人	
成果		一人ひとりの健康状態にあわせた、安全で効果的な運動処方の提供や運動の実践を図ることができた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一定期間休止していたこと、また、再開後も運営方法を変更したため、実績が減少した。 しかしながら、新しい生活様式に応じた運営の下、市民への健康づくりに一定の成果を収めた。							
課題		生活習慣病の予防という観点からは、若い世代のげんき度測定受検者数を増加させ、自分の健康状態等を把握してもらえるような機会を提供していく必要がある。また、利用者の高齢化に伴い、教室使用時の安全性に配慮した体制作りが必要である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
成果指標		げんき度測定受検者数（人）		865	650	71	220	680	
成果指標		個別支援教室利用者数（人）		35,042	32,244	5,594	17,000	24,000	
他市との比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		32,247	33,273	29,996	36,007	合計	29,995,781 円	
	財源	特定財源	22,810	24,826	21,639	27,709	需用費	379,995 円	
		一般財源	9,437	8,447	8,357	8,298	役務費	335,037 円	
	職員人件費 ②		8,101	8,480	8,967	11,308	委託料	27,730,777 円	
	総事業費（①+②）		40,348	41,753	38,963	47,315	使用料及び賃借料	994,032 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
		2年度までの累積事業費		0		健康増進事業補助金（県）			
4年度以降の事業費見込		0		成人保健事業費寄附金 講座受講料 介護予防普及啓発事業受託収					
						備品購入費	555,940 円		

会計名 一般会計			かりや健康マイレージ事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	健康推進課	
4	1	3					担当係	健康増進係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	若い世代からの健康意識の向上や自主的な健康づくりを支援する。			主たる内容	運動や食事等、日々の生活習慣の改善に繋がる取組の実践や、各種健康診査の受診、イベント、地域活動、ボランティア活動等に取り組むことでポイントを付与し、一定以上のポイントの獲得により、県内の協力店で優待等が受けられるカードを交付する。			
	位置づけ	関連計画	第2次健康日本21かりや計画						
		根拠法令							
		対象者	市民		事業期間	平成28年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・優待カード交付枚数 464枚		・優待カード交付枚数 688枚		・優待カード交付枚数 918枚		・優待カード交付枚数 1,000枚	
成果		参加者の利便性を考え、チャレンジシートの配布場所の増設及び提出場所の拡大を行なった。また、コロナ禍における在宅での健康づくりとして、チャレンジシートに「自宅でできる筋トレ」のチラシを添付し、市内のいきいきクラブ会員に周知し、目標値を大きく超えた実績となった。							
課題		20代及び壮年期の男性の参加割合が少ないため、啓発、周知をすすめていく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標	優待カード交付枚数（枚）			464	688	918	1,000	1,000	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		374	537	512	713	合計	512,280 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	63,280 円	
		一般財源	374	537	512	713	需用費	300,000 円	
	職員人件費 ②		3,086	1,548	2,621	5,281	役務費	149,000 円	
	総事業費（①+②）		3,460	2,085	3,133	5,994			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名		住民検診事業				担当部	福祉健康部	
一般会計						担当課	健康推進課	
款	項					目	担当係	成人保健係
4	1	4						
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全					
		基本施策	健康づくり					
		施策の内容	予防接種と感染症対策					
	目的	市民の健康維持のため、胸部レントゲン直接撮影を実施し、結核の早期発見を図る。		主たる内容	75歳以上の人を対象に、胸部レントゲン直接撮影を行う。（65歳から74歳の人は肺がん検診に合わせて実施）			
	関連計画							
	根拠法令	感染症法						
	対象者	65歳以上の市民		事業期間	昭和55年度～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画
		・受診者数（75歳以上） 6,245人（対象者数13,578人） （65歳～74歳の受診者5,912人 については肺がん検診受診者として計上）		・受診者数（75歳以上） 6,319人（対象者数14,127人） （65歳～74歳の受診者5,886人 については肺がん検診受診者として計上）		・受診者数（75歳以上） 5,915人（対象者数14,771人） （65歳～74歳の受診者5,014人 については肺がん検診受診者として計上）		・受診者数（75歳以上） 6,100人
成果		新型コロナウイルス感染症の1回目緊急事態宣言の影響で健診開始を遅らせたが、その後は感染予防対策を講じながら実施できた。 結核の早期発見に貢献している。						
課題		結核の発病が高齢者に多いと言われる中、より一層の受診者数の増加を図る必要がある。						
指標名称（単位）			実績値		目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		住民健診事業としての結核健診受診率（％）		46.0	44.7	40.0	42.0	46.0
指標								
他市との比較検証								
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳
	事業費①		13,618	14,219	13,329	16,444	合計	13,328,576円
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	13,328,576円
		一般財源	13,618	14,219	13,329	16,444		
	職員人件費②		2,315	2,472	1,725	610		
	総事業費（①+②）		15,933	16,691	15,054	17,054		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称		
		2年度までの累積事業費		0				
4年度以降の事業費見込		0						

会計名		予防接種事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	健康推進課		
款	項					目	担当係	成人保健係	
4	1	4							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	予防接種と感染症対策						
	目的	風しんの抗体検査と予防接種を実施することにより、風しんの感染及び先天性風しん症候群の予防を図る。			主たる内容	昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性に対して、無料で風しんの抗体検査を行い、抗体価の低い人に定期接種として無料で予防接種を実施する。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	予防接種法						
		対象者	市民（特定年齢の男性）		事業期間	令和元年度 ~ 令和3年度			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		—		・抗体検査実施者数 2,707人 ・予防接種実施者数 604人		・抗体検査実施者数 1,553人 ・予防接種実施者数 331人		・抗体検査実施者数 3,000人 ・予防接種実施者数 650人	
成果		風しんのまん延及び先天性風しん症候群の発生予防に寄与した。							
課題		さらに実施率を向上させる必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		抗体検査実施者数（人）			—	2,707	1,553	3,000	—
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	25,160	12,853	25,155	合計	12,853,086 円	
	財源	特定財源	0	9,391	4,603	8,099	需用費	272,580 円	
		一般財源	0	15,769	8,250	17,056	役務費	1,442,200 円	
	職員人件費 ②		0	3,319	2,471	1,439	委託料	11,138,306 円	
	総事業費（①+②）		0	28,479	15,324	26,594			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
		2年度までの累積事業費		0		風しん抗体検査事業費補助金（国）			
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			薬剤散布事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	健康推進課	
款	項	目					担当係	健康企画係	
4	1	5							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	予防接種と感染症対策						
	目的	公衆衛生の向上を図り、清潔で住みよい環境づくりを推進する。	主たる内容	感染症がまん延する恐れのある場合、必要に応じて消毒や殺虫を行う。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・殺虫剤噴煙機の貸出 134台 ・水溶性殺虫剤の配布 5,696個		・殺虫剤噴煙機の貸出 117台 ・水溶性殺虫剤の配付 5,129個		・噴煙機のメンテナンス、殺虫剤等の備蓄		・噴煙機のメンテナンス、殺虫剤等の備蓄	
成果		消毒や殺虫に必要な資材を備蓄し、噴煙機のメンテナンスを行い、迅速に対応できる体制を整えた。							
課題		殺虫剤噴煙機の老朽化による不具合が多いが、既に部品調達は困難な状況である。同様の噴煙機の生産廃止も危惧される状況の中、機械の更新も課題が多い。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標	水溶性殺虫剤世帯配付数（個）		5,696	5,129	0	0	0		
活動指標	防疫用噴煙機貸出し台数（台）		134	117	0	0	0		
C 事業 コスト	他市との比較検証								
	単位：千円	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
財源	事業費 ①	2,374	1,876	861	729	合計	860,507 円		
	特定財源	0	0	0	0	需用費	853,511 円		
	一般財源	2,374	1,876	861	729	委託料	6,996 円		
	職員人件費 ②	1,852	1,925	224	226				
	総事業費（①+②）	4,226	3,801	1,085	955				
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
	2年度までの累積事業費		0						
	4年度以降の事業費見込		0						